



安全運転を呼び掛けながら啓発グッズを配る参加児童

牛乳飲んで事故防止 めざまし作戦を実施

町交通安全対策協議会主催の「交通事故防止めざまし作戦」は8月9日、道の駅くずまぎ高原駐車場で行われ、関係者約30人が参加しました。参加した小田防犯少年隊の子どもたちは、道の駅に立ち寄った車の運転手に、冷たい牛乳や交通安全の啓発グッズを手渡し、「水分補給をしながら安全運転をお願いします」と元気よく呼び掛けました。活動後、岩手警察署の千葉憲生交通課長は「活動を機に日頃から家族などに交通安全について声を掛け合いましょう」と交通安全啓発の大切さについて話しました。

新たに11人を追悼 故人の冥福を祈る

消防団義魂祭は8月14日、宝積寺の境内で消防関係者ら約60人が出席して行われました。この義魂祭は生前消防団員として活躍した方々を供養するために町消防団が毎年行っています。本年度は新たに11人が奉られ、厳かな雰囲気の中、鈴木重男町長は「先人たちのこれまでの取り組みを礎に、町民が安心安全で暮らせるよう、より一層努めて参ります」と追悼の辞を捧げました。出席者らは、町消防団員として活動した故人の冥福を祈り、消防団のさらなる発展を誓っていました。



共に消防団として活動した故人の冥福を祈る出席者たち

インターンシップ 現場を肌で感じる

8月19日から23日にかけて、葛巻型インターンシップが行われ、11人の大学生が役場や第三セクターなどで業務の体験をしました。8月20日には役場で移住や観光に関する業務を行い、移住希望者役と役場の職員役になって町の紹介や質問に応じる体験をしたり、町のイベントをSNSを使って発信するための原稿を作成したりしました。木尾隼太さん（駿河台大学3年、埼玉県出身）は「町の魅力をどう伝えるべきか考えるのが意外と難しかった」と話し、現場の様子を肌で感じ取った様子でした。



町の魅力をどのように発信するか検討する学生たち



講師の川口さん（手前）の動きに合わせて体操する参加者

エンジョイジャズ体操 仲間たちと楽しく運動

7月21日、葛巻ジャズ体操クラブ（田向良枝会長）主催のエンジョイジャズ体操inくずまぎが社会体育館で行われ、本町のほか近隣市町村から15人が参加しました。講師は岩手県ジャズ体操協会の川口和子さんが務め「日頃から体を動かさないと筋力が落ちる。ジャズ体操は体に無理のない動きで運動できます」とジャズ体操の魅力について話しました。波岡裕子さん（二戸市）は「多くの人と笑顔で気持ちよく体を動かせてよかった」と実技に満足した様子で感想を述べました。

泳ぎの上達を目指す 小・中学生水泳教室

7月24日、町スポーツ協会（近藤豊美彦会長）主催の小・中学生水泳教室（全6回）の第1回目が葛巻小学校屋内プールで行われ、12人の児童が参加しました。この日は主にクロールの練習が行われ、講師の千葉準也さん（盛岡市）は「腕を前にまっすぐ伸ばして、体を反らさないように幅の小さなキックをすることで楽に泳げます」とクロールの泳ぎ方のコツについて、実演を交えながら指導しました。子どもたちは泳ぎ方の上達を意識しながら練習に励んでいました。



講師の千葉さんとアドバイスを実践して泳ぐ参加児童

高校生から中学生へ 伝統神楽を受け継ぐ

葛巻中学校の2、3年生33人は7月31日と8月1日の2日間、葛巻高校郷土芸能部の生徒4人から伝統神楽の指導を受けました。この活動は葛巻神楽の技術向上と伝統の継承のため、この時期に毎年行っているものです。伝統神楽を初めて踊る2年生は、高校生からのアドバイスを熱心に聞き、動きの基本を体に叩き込んでいました。向川原楽さん（2年）は「初めてで難しかったが、高校生が分かりやすく教えてくれた。しっかり踊れるように頑張りたい」と意欲を見せていました。



高校生（手前）から熱心に指導を受ける中学生